

2023年度 秋期実施

課程：前期

専攻：社会学

No. 1

入学試験問題

(注)  問題用紙に直接解答すること。

別紙の解答用紙 2 枚に解答すること。

試験科目 英語	受験番号
氏名	

[I] 次の英文を読んで、以下の間に答えなさい。

※

(著作権の都合上、問題文を掲載していません)

1. 下線部①～③を日本語に翻訳しなさい。
2. 下線部(ア)はどのような社会の見方か。簡潔に説明しなさい。
3. この文章の要旨を日本語 200 字程度で書きなさい。

2023年度 秋期実施

課程：前期

専攻：社会学

No. 1

入学試験問題

(注) ■ 問題用紙に直接解答すること。

□ 別紙の解答用紙 枚に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

※

[I] 以下の設問を読み、問題1・2・3の指示に従って、それぞれ回答しなさい。

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻のAさんは、学習到達度に影響を及ぼす様々な要因について実証的な調査研究を計画しています。そのための予備調査として、懇意にしている地元中学校のB先生の協力を得て、B先生が担任をしている中学3年生のクラスの10名の生徒について、生徒の発達の指標として身長、学習到達度の指標として偏差値化した1学期の成績の総合計を紙のメモで教えてもらいました。

表1：中学3年生10名の発達指標（身長）と学習到達度試験結果

回答者番号	身長(cm)	学習到達度(偏差値)
1	118	100
2	102	79
3	75	75
4	73	69
5	105	52
6	162	51
7	176	81
8	295	13
9	274	13
10	275	13

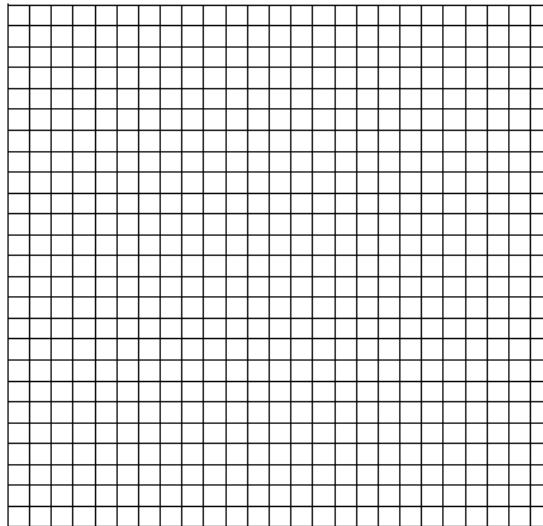
B先生から渡されたメモは手書きで、また急な大雨にあたって読みづらくなった箇所もありましたが、なんとか解読してEXCELを使って表1のように急いでまとめました。

「これで修士論文完成に一步近づいた！」と感じたAさんは、早速、SPSS（社会調査結果の統計解析用のソフトウェア）を使って、身長と学習到達度の相関係数を求めました。

結果は $r = -0.84(p < .001)$ となりました。この結果をAさんはとても不思議に思いました。

問1：何故、Aさんは分析結果を「不思議に思った」のか、説明しなさい。

問2：下の方眼図を使って、10名の生徒の身長と学習到達度の測定結果を散布図で表現しなさい。その際、身長を独立変数、学習到達度が従属変数となるようにして図示してください。



問3：問2で作成した散布図の結果をもとに、身長（発達の指標）と学習到達度との間の真の関係とはどのようなものか、Aさんに対するあなたなりのアドバイスを簡潔に記載しなさい。

2023年度 秋期実施

課程：前期

専攻：社会学

No. 2

入学試験問題

(注)  問題用紙に直接解答すること。

別紙の解答用紙1枚に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

[II] 次の四つの用語や人名についてそれぞれ説明しなさい。

- (1) 正当な物理的暴力の行使の独占
- (2) Karl Marx (1818-1883)
- (3) 人種とエスニシティ
- (4) 中範囲の理論

※